

第1回スヌーズレン研修会 のお知らせ



2025年

12月21日

日

13:00~16:00

北九州市八幡西生涯学習
総合センター (コムシテイ内 202室)



講師

姉崎 弘

九州女子大学・人間科学部児童・幼児教育学科 教授
ISNA日本スヌーズレン-MSE研究・資格認定協会 理事長
ISNA日本スヌーズレン総合研究所 終身名誉会長

2025年5月に、北九州市にスヌーズレンの国際的な団体が誕生しました。これまで九州に拠点を置くスヌーズレンの協会や研究会はありませんでした。ここ九州から日本全国へ、海外の専門家と協力してスヌーズレンの情報発信を行い、スヌーズレンの専門性をもつ人々を少しずつ養成していきます。

講師
略歴

- 養護学校に13年勤務の後、三重大学教育学部教授等を経て現職
- 1994年 肢体不自由養護学校で光と音楽を用いたスヌーズレンの授業実践を行う
- 2008年 ドイツ・フンボルト大学リハビリテーション科学研究所客員研究員(Prof.Dr.Mertens.K.に師事)
- 2012年~2014年 ISNA-MSE international Board
- 2014年 国際スヌーズレン専門支援士(Prof.Dr.Mertens.K.より取得)
- 2015年 ISNA日本スヌーズレン総合研究所を設立し、同研究所長・名誉会長を歴任
- 2025年 ISNA日本スヌーズレン総合研究所終身名誉会長 / 国際スヌーズレン専門支援士SV

日時 2025年12月21日(日) 13:00～16:00

会場 北九州市八幡西生涯学習総合センター(コムシティ内 202室)

参加費 3000円(当日、受付でお支払い下さい)

研修日程	
12:30～13:00	受付
13:00～14:20	基調講演『スヌーズレン-MSEの基本的な理解』 スヌーズレンについて初学者にもわかりやすく解説します 理事長 姉崎 弘(九州女子大学教授)
14:30～15:30	情報交換会(グループワーク)
15:40～15:50	資格セミナーについてのご案内
15:50～16:00	修了証の授与/アンケートの回収

参加方法

参加をご希望の方は、当協会のメールアドレス(isna.snoezelen.japan.rqa@gmail.com)まで以下の内容を送付して下さい。

氏名(フリガナ)/連絡先(電話番号)/自宅住所/勤務先・所属名・職名/
スヌーズレンの経験年数/「資格セミナー」への参加希望の有無

※当日、最新刊『スヌーズレンの基本的理解(第2版)』(学術研究出版)定価1870円(税込)を
会員価格1600円(税込)で販売します。

※今回の参加者を対象に、2026年1月に、九州女子大学(北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1)を会場に
第1回スヌーズレン資格セミナーの開催を予定しております。

※今回の研修会への参加が、資格セミナーへの参加条件になります。

アクセス

JR鹿児島本線「黒崎駅」から徒歩2分(駅直結のコムシティ2階)



主催: ISNA日本スヌーズレン-MSE研究・資格認定協会

共催: 学術研究出版

お問い合わせ: isna.snoezelen.japan.rqa@gmail.com 緊急連絡先: 090-9948-7174



参加準備

12/21 当日の「情報交換会」で皆様とお互いの情報を交換し合い、有意義な研修にしていきたいと考えていますので、以下のご用意をお願いします。

「現在の職場や自分自身等のスヌーズレン実践上の現状と課題」について

A4 版 1 枚 (40 字 × 40 行以内、10.5 ポイント) に、簡単なレポートを作成し、氏名を書いてこちらに送付下さい。

- ・ 提出期限 : 12 月 17 日までメール添付で送付
- ・ 当日、終了時間が 16 時を 30 分くらい過ぎるかもしれませんが、ご了承下さい。

「第1回スヌーズレン研修会(12月21日)の感想」(その一部をご紹介します。)

- ・ 基礎的なお話を聞くことができ、新たな気づきがありました。職場に戻ってからもできることをやってみようと思いました。器材にこだわらず、手作りのものも検討していきたいです。
- ・ スヌーズレンがどこで生まれたのか、どうして生まれたのか、また歴史や理念を聞くことができました。書籍を読まない、上づけのみの知識では不十分だろうと感じました。紹介していただいた書籍をまずは読み込もうと思います。今後現場で活用していくためにも、自己研鑽に励みたいと思います。つつい即実践できるように、「具体例」や「ヒント」をほしがる傾向にある自分を反省したのでした。スヌーズレンに関する知識を得ようとするやる気スイッチを押して下さりありがとうございました。
- ・ スヌーズレンを行うに際して、必要な器材等の要件が知りたいと思い参加しましたが、利用者がリラックスできる環境(部屋・エリア)の用意が必要であると理解できました。
- ・ 知らなかったスヌーズレンについて、理解が少しできました。今の職場の放課後デイは時間的な制約があって、実現が少し難しい所もあります。環境づくりは少しずつ進んでいます。児童と一緒に経験していくことを増やせるような形を作っていきたいと思います。

スヌーズレンについて、一度しっかりとした理論やしくみを学びたいと思い、10年以上経っていたので、良い機会になりました。こうすればスヌーズレンだというものではなく、理念に沿って利用する人のオーダーメイドを作り上げる姿勢が必要なのだと感じました。なかなかしっかりとスヌーズレンを学ぶ機会が九州ではなかったので、ありがたいです。

※このスヌーズレン研修会は、皆様のスヌーズレンの基礎理解を深めていただく機会として、連続講座を今後も定期的で開催していきますので、どうぞご参加下さい。

情報交換会の様子

いよいよ九州の地で、スヌーズレンの研修会と資格認定の事業が本格的にスタートしました。

